

大学番号 私立176

注3

設置年度 平成 30年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

東海学園大学 心理学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 東海学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 教務課長 加藤雅久

電話番号 052-801-1201

（夜間） 052-801-1383

e-mail n-kyomu@tokaigakuen-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

<心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東海学園

(2) 大学名

東海学園大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒468-8514

愛知県名古屋市天白区中平二丁目901番地（愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ソデヤマ エイシン) 袖山 榮眞 (平成26年2月)	(トヨオカ リョウジ) 豊岡 瞭尔 (令和2年4月1日)	前理事長退任の為(2)
学長	(マツバラ タケヒサ) 松原 武久 (平成27年4月)		
学部長	(カワノ カズアキ) 河野 和明 (平成30年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
心理学部 心理学科 学士（心理学）	文学関係	4年	100人	3年次 2人	404人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A	入学定員	100 (2) [-]		100 (2) [-]		100 (2) [-]		100 (2) [-]		1.15倍	-	
	志願者数	925 (-) [-]	- (-) [-]	1258 (-) [-]	- (-) [-]	1313 (-) [1]	- (-) [-]	816 (-) [-]	- (-) [-]			
	受験者数	879 (-) [-]	- (-) [-]	1214 (-) [-]	- (-) [-]	1261 (-) [-]	- (-) [-]	783 (-) [-]	- (-) [-]			
	合格者数	397 (-) [-]	- (-) [-]	421 (-) [-]	- (-) [-]	424 (-) [-]	- (-) [-]	466 (-) [-]	- (-) [-]			
B	入学者数	124 (-) [-]	- (-) [-]	125 (-) [-]	- (-) [-]	108 (-) [-]	- (-) [-]	106 (-) [-]	- (-) [-]			
	入学定員超過率 B/A	1.24		1.25		1.08		1.06				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	124 [-] (-)	- [-] (-)	125 [-] (-)	- [-] (-)	108 [-] (-)	- [-] (-)	106 [-] (-)	- [-] (-)	4 年次に転入学生 1 名含む。
2 年次			122 [-] (-)	- [-] (-)	122 [-] (-)	- [-] (-)	106 [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					121 [-] (-)	- [-] (-)	120 [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							115 [-] (-)	- [-] (-)	
計	124 [-] (-)		247 [-] (-)		351 [-] (-)		447 [-] (-)		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	124 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	就職(1人)、病気療養(1人)
令和元年度	247 人	5 人	平成30年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)、病気療養(1人)
			令和元年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学・編入(2人) 学生個人の心身に関する事情(1人)
令和2年度	351 人	9 人	平成30年度	6 人	0 人	除籍(1人)、学生個人の心身に関する事情(2人) 家庭の事情(2人)、学力不足(1人)
			令和元年度	2 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)、除籍(1人)
			令和2年度	1 人	0 人	除籍(1人)
令和3年度	447 人	1 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
			令和3年度	人	人	
合 計		17 人		17 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{124} = \boxed{1.61} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{247} = \boxed{2.02} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{351} = \boxed{2.56} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{447} = \boxed{0.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共生	共生人間論Ⅰ(フツダと法然)	1前	2								1
	共生人間論Ⅱ	3後	2								1
	共生人間論実習	2・3期・後	1								1
健康・スポーツ	健康と運動	1後	2								1
	スポーツ(バドミントン)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(テニス)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(バスケットボール)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(バレーボール)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(サッカー)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(ソフトボール)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(ゴルフ)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(エアロビクス)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(アクアビクス)	1-2-3-4期	1								1
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2			1					
	キャリアデザインⅡ	1後	2			1					
全学共通科目群	総合英語Ⅰ	1前	1								1
	総合英語Ⅱ	1後	1								1
	総合英語Ⅲ	2後	1								1
	英会話Ⅰ	1前	1								1
	英会話Ⅱ	1後	1								1
	英会話Ⅲ	2前	1								1
	中国語Ⅰ	2前	1								1
	中国語Ⅱ	2後	1								1
	韓国語Ⅰ	2前	1								1
	韓国語Ⅱ	2後	1								1
	フランス語Ⅰ	2前	1								1
	フランス語Ⅱ	2後	1								1
	ポルトガル語Ⅰ	2前	1								1
	ポルトガル語Ⅱ	2後	1								1
	英語リーディング	3前	1			1					
	英語ライティング	2前	1								1
	英語ディスカッション	3後	1								1
日本語	日本語表現法A(音声)	1前・後	2								1
	日本語表現法B(文章)	1前・後	2								1
人文	哲学の基礎	1前	2			1					
	倫理学の基礎	3後	2			1					
	心のメカニズム	1後	2			1					
	日本の歴史	1前	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	日本の文学	1前	2								1
	外国の文学	2後	2			1					
	異文化理解	2後	2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人間教育	共生人間論Ⅰ(フツダと法然)	1前	2								1
	共生人間論Ⅱ	3後	2					1			1
	共生人間論実習	2・3期・後	1								1
ともいき教養教育	持続可能な社会(SDGs)と共生	1春	2					1			1
	自然環境と共生	1秋	2					1			1
	生物多様性と共生	1春	2								1
	多文化共生	2秋	2								1
	市民社会と共生	3春	2								1
	国際事情と共生	3春	2								1
ともいき実践教育	地域社会と共生A	1通	1								1
	地域社会と共生B	2通	2								1
	海外文化研修A	1-2-3-4期	1								1
	海外文化研修B	1-2-3-4期	2								1
	海外文化研修C	1-2-3-4期	4								1
海外文化研修D	1-2-3-4期	6								1	
健康・スポーツ	健康と運動	1後	2								1
	スポーツ(バドミントン)	1-2-3-4期	1								2
	スポーツ(テニス)	1-2-3-4期	1								3
	スポーツ(バスケットボール)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(バレーボール)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(サッカー)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(ソフトボール)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(ゴルフ)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(エアロビクス)	1-2-3-4期	1								1
	スポーツ(アクアビクス)	1-2-3-4期	1								1
キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2					1			
	キャリアデザインⅡ	1後	2					1			
情報	情報リテラシーA	1前	1					1			2
	情報リテラシーB	1後	1					1			2
全学共通科目群	総合英語Ⅰ	1前	1								4
	総合英語Ⅱ	1後	1								4
	総合英語Ⅲ	2前・後	1								3
	英会話Ⅰ	1前	1								6
	英会話Ⅱ	1後	1								6
	英会話Ⅲ	2前・後	1								5
	中国語Ⅰ	2前	1								2
	中国語Ⅱ	2後	1								2
	韓国語Ⅰ	2前	1								1
	韓国語Ⅱ	2後	1								1
	フランス語Ⅰ	2前	1								1
	フランス語Ⅱ	2後	1								1
	ポルトガル語Ⅰ	2前	1								1
	ポルトガル語Ⅱ	2後	1								1
	英語リーディング	3前	1					1			
	英語ライティング	2後	1								1
	英語ディスカッション	3後	1								1
日本語	日本語表現法A(音声)	1前・後	2								2
	日本語表現法B(文章)	1前・後	2								1
人文	哲学の基礎	1前	2			1					
	倫理学の基礎	3後	2			1					
	心のメカニズム	1前	2			1					
	日本の歴史	1前	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	日本の文学	1前	2								1
外国の文学	2後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目群	社会	憲法と基本権	1前	2							1
		社会生活と法	2前	2							1
		暮らしと経済	1後	2							1
		現代社会と生活	1前	2							1
		社会福祉学の基礎	1前	2							1
		市民社会と政治	3前	2							1
		国際事情	3前	2							1
		地域社会と共生	2後	2		1					
	自然	生活と環境	1後	2							1
		生活と化学	1後	2							1
		生命の科学	1前	2							1
		数学入門	1後	2							1
		自然と環境	1前	2							1
	日本文化	日本文化論	1後	2							1
		日本の文化(書道)	1-2-3-4 前:後	1							1
		日本の文化(華道)	1-2-3-4 前:後	1							1
		日本の文化(舞踊)	1-2-3-4 前:後	1							1
		日本の文化(陶芸)	1-2-3-4 通	1							1
	情報	情報リテラシーA	1前	1							2
情報リテラシーB		1後	1							2	
海外研修	海外異文化研修A	1-2-3-4 通	2							1	
	海外異文化研修B	1-2-3-4 通	4							1	
	海外異文化研修C	1-2-3-4 通	6							1	
小計(65科目)		-									
専門科目群	基礎科目	自然科学の基礎知識	1前	2		1					
		人文科学の基礎知識	1後	2		1					
		社会科学の基礎知識	2後	2		1					
		仕事の世界	2前	2		1					
		生涯学習概論	2後	2							1
	基幹科目	心理学概論	1前	2		1					
		心理学研究法・統計法	1後	2		1					
		心理学実験 I	2前	2		2					8
		心理学実験 II	2後	2		2					8
		実験心理学	2後	2		1					
		知覚・認知心理学 I	2前	2		1					
		知覚・認知心理学 II	2後	2		1					
		発達心理学	1後	2			1				
		教育心理学	2前	2			1				
		臨床心理学概論	1前	2			1				
		感情・人格心理学 I	1前	2			1				
		感情・人格心理学 II	2前	2		1					
		社会・集団・家族心理学	1前	2		1					
		対人認知論	1後	2		1					
		適応の心理学	3後	2		1					
		学習・言語心理学	3前	2							1
		神経・生理心理学	3前	2							1
		公認心理師の職責	4前	2		1					
		比較文化論	1後	2		1					
		心理統計法 I	1後	2		1					
	心理統計法 II	2前	2		1						
	心理統計法 III	2後	2			1					
	心理学英文講読 I	1前	2		1						
	心理学英文講読 II	1後	2		1						
	展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前	2							1
心理測定法		3後	2			1					
動物心理学		4前	2		1						
色彩心理学		4前	2		1						
教育・学校心理学		2後	2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目群	社会	憲法と基本権	1前	2								1	
		社会生活と法	2前	2								1	
		暮らしと経済	1後	2								1	
		現代社会と生活	1前	2								1	
		社会福祉学の基礎	1前	2								1	
		生活と環境	1後	2								3	
		生活と化学	1後	2								1	
		生命の科学	1前	2								1	
	数学入門	1後	2			1							
	日本文化	日本文化論	1後	2								1	
		日本の文化(書道)	1-2-3-4 前:後	1								1	
		日本の文化(華道)	1-2-3-4 前:後	1								1	
		日本の文化(舞踊)	1-2-3-4 前:後	1								1	
		日本の文化(陶芸)	1-2-3-4 通	1								1	
	小計(69科目)		-										
	専門科目群	基礎科目	自然科学の基礎知識	1前	2		1						
			人文科学の基礎知識	1後	2		1						
			社会科学の基礎知識	2後	2		1						
			仕事の世界	2前	2		1						
生涯学習概論			2後	2								1	
基幹科目		心理学概論	1前	2		1							
		心理学研究法	1後	2		1							
		心理学実験 I	2前	2		2		1	1			8	
		心理学実験 II	2後	2		2		1	1			8	
		実験心理学	2後	2		1							
		知覚・認知心理学 I	2前	2		1							
		知覚・認知心理学 II	2後	2		1			1				
		発達心理学	1後	2								1	
		教育心理学	2前	2								1	
		臨床心理学概論	1前	2				1					
		感情・人格心理学 I	1前	2								1	
		感情・人格心理学 II	2前	2		1							
		社会・集団・家族心理学	1前	2		1							
		対人認知論	1後	2		1							
		適応の心理学	3後	2		1							
		学習・言語心理学	3前	2								1	
		神経・生理心理学	3前	2						1			
		公認心理師の職責	4前	2		1							
比較文化論		1後	2		1								
心理統計法 I		1後	2		1						1		
心理統計法 II	2前	2		1									
心理統計法 III	2後	2					1						
心理学英文講読 I	1前	2		1									
心理学英文講読 II	1後	2		1									
展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前	2								1		
	心理測定法	3後	2			1							
	動物心理学	4前	2		1								
	色彩心理学	4前	2		1								
	教育・学校心理学	2後	2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目群	展開応用科目	障害者(児)心理学	2前	2							1
		生涯発達心理学	3前	2		1					
		児童心理学	3後	2			1				
		家族心理学	3前	2		1					
		産業・組織心理学	2前	2		1					
		環境心理学	3後	2							1
		応用心理学	3後	2							1
	文化心理学	4前	2			1					
	展開応用科目	心理的アセスメント	2後	2		1					
		精神疾患とその治療	3後	2			1				
		健康・医療心理学	3前	2			1				
		福祉心理学	2後	2		1					
		心理学的支援法	3前	2		1					
		司法・犯罪心理学	3前	2							1
		調査法Ⅰ	2前	2		1					
		調査法Ⅱ	2後	2		2	1				
		行動観察法	3後	2							1
		面接法	3前	2			1				1
		社会調査論	1後	2		1					
		調査演習Ⅰ	3前	2		1					
調査演習Ⅱ		3後	2		1						
ことばと認知	3前	2		1							
論理と認知	4後	2		1							
人体の構造と機能及び疾病	3前	2							1		
関係行政論	3後	2							1		
心理演習	4前	2			6	2					
心理実習	4後	2			6	2					
小計(61科目)	-										
演習科目群	演習科目	基礎演習Ⅰ	1前	2		9	2		1		
		基礎演習Ⅱ	1後	2		9	2		1		
		基礎演習Ⅲ	2前	2		9	2		1		
		基礎演習Ⅳ	2後	2		9	2		1		
		総合演習Ⅰ	3前	2		9	2		1		
		総合演習Ⅱ	3後	2		9	2		1		
		総合演習Ⅲ	4前	2		9	2		1		
		総合演習Ⅳ	4後	2		9	2		1		
小計(8科目)	-										
合計(134科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目群から25単位(必修科目・選択必修科目14単位を含む)以上、専門科目群62単位(必修科目・選択必修科目22単位を含む)以上、演習科目群から必修科目16単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目群	展開応用科目	障害者・障害児心理学	2前	2							1
		生涯発達心理学	3前	2		1					
		児童心理学	3後	2					1		
		家族心理学	3前	2		1					
		産業・組織心理学	2前	2					1		
		環境心理学	3後	2							1
		応用心理学	3後	2							1
	文化心理学	4前	2			1					
	展開応用科目	心理的アセスメント	2後	2		1					
		精神疾患とその治療	3後	2			1				
		健康・医療心理学	3前	2			1				
		福祉心理学	2後	2		1					
		心理学的支援法	3前	2		1					
		司法・犯罪心理学	3前	2							1
		調査法Ⅰ	2前	2		1					
		調査法Ⅱ	2後	2		2	1				
		行動観察法	3後	2							2
		面接法	3前	2			1				2
		社会調査論	1後	2			1				
		調査演習Ⅰ	3前	2		1					
調査演習Ⅱ		3後	2		1						
ことばと認知	3前	2		1							
論理と認知	4後	2		1							
人体の構造と機能及び疾病	3前	2							1		
関係行政論	3後	2					1				
心理演習	4前	2			5	2					
心理実習	4後	2			5	2					
小計(61科目)	-										
演習科目群	演習科目	基礎演習Ⅰ	1前	2		8	3		1		
		基礎演習Ⅱ	1後	2		8	3		1		
		基礎演習Ⅲ	2前	2		8	3		1		
		基礎演習Ⅳ	2後	2		8	3		1		
		総合演習Ⅰ	3前	2		8	3		1		
		総合演習Ⅱ	3後	2		8	3		1		
		総合演習Ⅲ	4前	2		8	3		1		1
		総合演習Ⅳ	4後	2		8	3		1		1
小計(8科目)	-										
合計(138科目)	-										
卒業要件及び履修方法											
全学共通科目群から25単位(必修科目14単位を含む)以上、専門科目群62単位(必修科目・選択必修科目22単位を含む)以上、演習科目群から必修科目16単位を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))											

【平成30年度】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	共生 共生人間論Ⅰ(フダダと法然)	1前	2								1	
	共生人間論Ⅱ 共生人間論実習	3後 2-3前-後	2								1	
	健康・スポーツ	健康と運動	1後	2								1
		スポーツ(バドミントン)	1-2-3-4前	1								2
		スポーツ(テニス)	1-2-3-4後	1								3
		スポーツ(バスケットボール)	1-2-3-4前	1								1
		スポーツ(バレーボール)	1-2-3-4前	1								1
		スポーツ(サッカー)	1-2-3-4前	1								1
		スポーツ(ソフトボール)	1-2-3-4後	1								1
		スポーツ(ゴルフ)	1-2-3-4後	1								1
		スポーツ(エアロビクス)	1-2-3-4後	1								1
	スポーツ(アクアビクス)	1-2-3-4後	1								1	
	キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2			1					
		キャリアデザインⅡ	1後	2			1					
	外国語	総合英語Ⅰ	1前	1								3
		総合英語Ⅱ	1後	1								3
		総合英語Ⅲ	2後	1								1
		英会話Ⅰ	1前	1								6
		英会話Ⅱ	1後	1								6
		英会話Ⅲ	2前	1								1
		中国語Ⅰ	2前	1								1
		中国語Ⅱ	2後	1								1
		韓国語Ⅰ	2前	1								1
		韓国語Ⅱ	2後	1								1
		フランス語Ⅰ	2前	1								1
		フランス語Ⅱ	2後	1								1
		ポルトガル語Ⅰ	2前	1								1
ポルトガル語Ⅱ		2後	1								1	
英語リーディング	3前	1			1							
英語ライティング	2前	1								1		
英語ディスカッション	3後	1								1		
日本語	日本語表現法A(音声)	1前-後	2								1	
	日本語表現法B(文章)	1前-後	2								1	
人文	日本の歴史	1前	2								1	
	世界の歴史	1後	2								1	
	異文化理解	2後	2								1	
	哲学の基礎	1前	2			1						
	倫理学の基礎	3後	2			1						
	心のメカニズム	1後	2			1						
	日本の文学	1前	2								1	
	外国の文学	2後	2			1						
社会	憲法と基本権	1前	2								1	
	社会生活と法	2前	2								1	
	暮らしと経済	1後	2								1	
	市民社会と政治	3前	2								1	
	国際事情	3前	2								1	
	社会福祉学の基礎	1前	2								1	
	現代社会と生活	1前	2								1	
	地域社会と共生	2後	2			1						
自然	生活と環境	1後	2								1	
	自然と環境	1前	2								1	
	生命の科学	1前	2								1	
	生活と化学	1後	2								1	
	数学入門	1後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学共通科目群	共生 共生人間論Ⅰ(フダダと法然)	1前	2									1	
	共生人間論Ⅱ 共生人間論実習	3後 2-3前-後	2						1			1	
	健康・スポーツ	健康と運動	1後	2									1
		スポーツ(バドミントン)	1-2-3-4前	1									2
		スポーツ(テニス)	1-2-3-4後	1									3
		スポーツ(バスケットボール)	1-2-3-4前	1									1
		スポーツ(バレーボール)	1-2-3-4前	1									1
		スポーツ(サッカー)	1-2-3-4前	1									1
		スポーツ(ソフトボール)	1-2-3-4後	1									1
		スポーツ(ゴルフ)	1-2-3-4後	1									1
		スポーツ(エアロビクス)	1-2-3-4後	1									1
	スポーツ(アクアビクス)	1-2-3-4後	1									1	
	キャリア	キャリアデザインⅠ	1前	2			1						
		キャリアデザインⅡ	1後	2			1						
	外国語	総合英語Ⅰ	1前	1									4
		総合英語Ⅱ	1後	1									4
		総合英語Ⅲ	2前-後	1									2
		英会話Ⅰ	1前	1									6
		英会話Ⅱ	1後	1									6
		英会話Ⅲ	2前-後	1									4
		中国語Ⅰ	2前	1									1
		中国語Ⅱ	2後	1									1
		韓国語Ⅰ	2前	1									1
		韓国語Ⅱ	2後	1									1
		フランス語Ⅰ	2前	1									1
		フランス語Ⅱ	2後	1									1
		ポルトガル語Ⅰ	2前	1									1
ポルトガル語Ⅱ		2後	1									1	
英語リーディング	3前	1					1						
英語ライティング	2後	1									1		
英語ディスカッション	3後	1									1		
日本語	日本語表現法A(音声)	1前-後	2									2	
	日本語表現法B(文章)	1前-後	2									1	
人文	日本の歴史	1前	2									1	
	世界の歴史	1後	2									1	
	異文化理解	2後	2									1	
	哲学の基礎	1前	2					1					
	倫理学の基礎	3後	2					1					
	心のメカニズム	1前	2					1					
	日本の文学	1前	2									1	
	外国の文学	2後	2					1					
社会	憲法と基本権	1前	2									1	
	社会生活と法	2前	2									1	
	暮らしと経済	1後	2									1	
	市民社会と政治	3前	2									1	
	国際事情	3前	2									1	
	社会福祉学の基礎	1前	2									1	
	現代社会と生活	1前	2									1	
	地域社会と共生	2後	2									1	
自然	生活と環境	1後	2									1	
	自然と環境	1後	2					1					
	生命の科学	1前	2									1	
	生活と化学	1後	2									1	
	数学入門	1後	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	日本文化論	1後		2								1
	日本の文化(書道)	1-2-3-4 前・後		1								1
	日本の文化(華道)	1-2-3-4 前・後		1								1
	日本の文化(舞踊)	1-2-3-4 前・後		1								1
	日本の文化(陶芸)	1-2-3-4 通		1								1
	情報リテラシーA	1前		1								3
	情報リテラシーB	1後		1								3
	海外異文化研修A	1-2-3-4 通		2								1
	海外異文化研修B	1-2-3-4 通		4								1
	海外異文化研修C	1-2-3-4 通		6								1
小計(65科目)	-											
専門科目群	自然科学の基礎知識	1前		2		1						
	人文科学の基礎知識	1後		2		1						
	社会科学の基礎知識	2後		2		1						
	仕事の世界	2前		2		1						
	生涯学習概論	2後		2								1
	心理学概論	1前	2			1						
	心理学研究法	1後	2			1						
	心理学実験Ⅰ	2前	2			2						8
	心理学実験Ⅱ	2後	2			2						8
	実験心理学	2後	2			1						
	知覚・認知心理学Ⅰ	2前	2			1						
	知覚・認知心理学Ⅱ	2後	2			1						
	発達心理学	1後	2						1			
	教育心理学	2前	2						1			
	臨床心理学概論	1前	2				1					
	感情・人格心理学Ⅰ	1前	2						1			
	感情・人格心理学Ⅱ	2前	2			1						
	社会・集団・家族心理学	1前	2			1						
	対人認知論	1後	2			1						
	適応の心理学	3後	2			1						
学習・言語心理学	3前	2									1	
神経・生理心理学	3前	2									1	
公認心理師の職責	4前	2			1							
比較文化論	1後	2			1							
心理学統計法Ⅰ	1後	2			1							
心理学統計法Ⅱ	2前	2			1							
心理学統計法Ⅲ	2後	2						1				
心理学英文講読Ⅰ	1前	2			1							
心理学英文講読Ⅱ	1後	2			1							
展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前		2								1
	心理測定法	3後		2						1		
	動物心理学	4前		2		1						
	色彩心理学	4前		2		1						
	教育・学校心理学	2後		2		1						
	障害者・障害児心理学	2前		2								1
	生涯発達心理学	3前		2		1						
	児童心理学	3後		2						1		
	家族心理学	3前		2		1						
	産業・組織心理学	2前		2		1						
	環境心理学	3後		2								1
	応用心理学	3後		2								1
	文化心理学	4前		2		1						
	心理的アセスメント	2後		2		1						
	精神疾患とその治療	3後		2			1					
健康・医療心理学	3前		2			1						
福祉心理学	2後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	日本文化論	1後		2								1
	日本の文化(書道)	1-2-3-4 前・後		1								1
	日本の文化(華道)	1-2-3-4 前・後		1								1
	日本の文化(舞踊)	1-2-3-4 前・後		1								1
	日本の文化(陶芸)	1-2-3-4 通		1								1
	情報リテラシーA	1前		1								3
	情報リテラシーB	1後		1								3
	海外異文化研修A	1-2-3-4 通		2								1
	海外異文化研修B	1-2-3-4 通		4								1
	海外異文化研修C	1-2-3-4 通		6								1
小計(65科目)	-											
専門科目群	自然科学の基礎知識	1前		2			1					
	人文科学の基礎知識	1後		2			1					
	社会科学の基礎知識	2後		2			1					
	仕事の世界	2前		2			1					
	生涯学習概論	2後		2								1
	心理学概論	1前	2			1						
	心理学研究法	1後	2			1						
	心理学実験Ⅰ	2前	2			2			1			8
	心理学実験Ⅱ	2後	2			2			1			8
	実験心理学	2後	2			1						
	知覚・認知心理学Ⅰ	2前	2			1						
	知覚・認知心理学Ⅱ	2後	2			1						
	発達心理学	1後	2							1		
	教育心理学	2前	2							1		
	臨床心理学概論	1前	2				1					
	感情・人格心理学Ⅰ	1前	2							1		
	感情・人格心理学Ⅱ	2前	2			1						
	社会・集団・家族心理学	1前	2			1						
	対人認知論	1後	2			1						
	適応の心理学	3後	2			1						
学習・言語心理学	3前	2									1	
神経・生理心理学	3前	2									1	
公認心理師の職責	4前	2			1							
比較文化論	1後	2			1							
心理学統計法Ⅰ	1後	2			1							
心理学統計法Ⅱ	2前	2			1							
心理学統計法Ⅲ	2後	2							1			
心理学英文講読Ⅰ	1前	2			1							
心理学英文講読Ⅱ	1後	2			1							
展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前		2								1
	心理測定法	3後		2						1		
	動物心理学	4前		2		1						
	色彩心理学	4前		2		1						
	教育・学校心理学	2後		2		1						
	障害者・障害児心理学	2前		2								1
	生涯発達心理学	3前		2		1						
	児童心理学	3後		2						1		
	家族心理学	3前		2		1						
	産業・組織心理学	2前		2		1						
	環境心理学	3後		2								1
	応用心理学	3後		2								1
	文化心理学	4前		2		1						
	心理的アセスメント	2後		2		1						
	精神疾患とその治療	3後		2			1					
健康・医療心理学	3前		2			1						
福祉心理学	2後		2		1							

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
人間教育	共生人間論Ⅰ(フタタと法然)	1前	2								1
	共生人間論Ⅱ	3後	2								1
ともいき教養教育	共生人間論実習	2・3前・後	1			1					
	持続可能な社会(SDGs)と共生	1春	2								1
	自然環境と共生	1秋	2			1					
	生物多様性と共生	1春	2								1
	多文化共生	2秋	2								1
	市民社会と共生	3春	2								1
ともいき実践教育	国際事情と共生	3春	2								1
	地域社会と共生A	1通	1								1
	地域社会と共生B	2通	2								1
	海外文化研修A	1・2・3・4通	1								1
	海外文化研修B	1・2・3・4通	2								1
	海外文化研修C	1・2・3・4通	4								1
健康・スポーツ	海外文化研修D	1・2・3・4通	6								1
	健康と運動	1後	2								1
	スポーツ(バドミントン)	1・2・3・4前	1								2
	スポーツ(テニス)	1・2・3・4後	1								3
	スポーツ(バスケットボール)	1・2・3・4前	1								1
	スポーツ(バレーボール)	1・2・3・4前	1								1
	スポーツ(サッカー)	1・2・3・4前	1								1
	スポーツ(ソフトボール)	1・2・3・4後	1								1
	スポーツ(ゴルフ)	1・2・3・4後	1								1
	スポーツ(エアロビクス)	1・2・3・4後	1								1
キャリア	スポーツ(アクアビクス)	1・2・3・4後	1								1
	キャリアデザインⅠ	1前	2				1				
情報	キャリアデザインⅡ	1後	2				1				
	情報リテラシーA	1前	1			1					2
	情報リテラシーB	1後	1								3
外国語	総合英語Ⅰ	1前	1								4
	総合英語Ⅱ	1後	1								4
	総合英語Ⅲ	2前・後	1								3
	英会話Ⅰ	1前	1								6
	英会話Ⅱ	1後	1								6
	英会話Ⅲ	2前・後	1								5
	中国語Ⅰ	2前	1								2
	中国語Ⅱ	2後	1								2
	韓国語Ⅰ	2前	1								1
	韓国語Ⅱ	2後	1								1
	フランス語Ⅰ	2前	1								1
	フランス語Ⅱ	2後	1								1
	ポルトガル語Ⅰ	2前	1								1
	ポルトガル語Ⅱ	2後	1								1
	英語リーディング	3前	1			1					
	英語ライティング	2後	1								1
	英語ディスカッション	3後	1								1
日本語	日本語表現法A(音声)	1前・後	2								2
	日本語表現法B(文章)	1前・後	2								1
人文	哲学の基礎	1前	2			1					
	倫理学の基礎	3後	2			1					
	心のメカニズム	1前	2			1					
	日本の歴史	1前	2								1
	世界の歴史	1後	2								1
	日本の文学	1前	2								1
	外国の文学	2後	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目群	社会	憲法と基本権	1前	2								1
		社会生活と法	2前	2								1
		暮らしと経済	1後	2								1
		現代社会と生活	1前	2								1
		社会福祉学の基礎	1前	2								1
	自然	生活と環境	1後	2								1
		生活と化学	1後	2								1
		生命の科学	1前	2								1
		数学入門	1後	2			1					
	日本文化	日本文化論	1後	2								1
		日本の文化(書道)	1-2-3-4 前・後	1								1
		日本の文化(華道)	1-2-3-4 前・後	1								1
		日本の文化(舞踊)	1-2-3-4 前・後	1								1
		日本の文化(陶芸)	1-2-3-4 通	1								1
	小計(69科目)		-									
専門科目群	基礎科目	自然科学の基礎知識	1前	2		1						
		人文科学の基礎知識	1後	2		1						
		社会科学の基礎知識	2後	2		1						
		仕事の世界	2前	2		1						
		生涯学習概論	2後	2								1
		基幹科目	心理学概論	1前	2		1					
	心理学研究法		1後	2		1						
	心理学実験 I		2前	2		1			1			8
	心理学実験 II		2後	2		1			1			8
	実験心理学		2後	2		1						
	知覚・認知心理学 I		2前	2		1						
	知覚・認知心理学 II		2後	2					1			
	発達心理学		1後	2					1			
	教育心理学		2前	2					1			
	臨床心理学概論		1前	2			1					
	感情・人格心理学 I		1前	2					1			
	感情・人格心理学 II		2前	2		1						
	社会・集団・家族心理学		1前	2		1						
	対人認知論		1後	2		1						
	適応の心理学		3後	2		1						
	学習・言語心理学		3前	2								1
	神経・生理心理学		3前	2					1			
	公認心理師の職責		4前	2		1						
	比較文化論		1後	2		1						
	心理学統計法 I		1後	2		1						
	心理学統計法 II		2前	2		1						
	心理学統計法 III	2後	2					1				
	心理学英文講読 I	1前	2		1							
	心理学英文講読 II	1後	2		1							
	展開応用科目	コミュニケーション心理学	1前	2								1
		心理測定法	3後	2		1						
		動物心理学	4前	2		1						
		色彩心理学	4前	2		1						
教育・学校心理学		2後	2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目群	障害者・障害児心理学	2前	2									1	
	生涯発達心理学	3前	2			1							
	児童心理学	3後	2						1				
	家族心理学	3前	2			1							
	産業・組織心理学	2前	2			1							
	環境心理学	3後	2									1	
	応用心理学	3後	2									1	
	文化心理学	4前	2			1							
	展開応用科目	心理的アセスメント	2後	2			1						
		精神疾患とその治療	3後	2				1					
		健康・医療心理学	3前	2				1					
		福祉心理学	2後	2			1						
		心理学的支援法	3前	2			1						
		司法・犯罪心理学	3前	2									1
		調査法Ⅰ	2前	2									
		調査法Ⅱ	2後	2			1			2			
		行動観察法	3後	2									1
		面接法	3前	2				1					2
		社会調査論	1後	2			1						
		調査演習Ⅰ	3前	2			1						
調査演習Ⅱ		3後	2			1							
ことばと認知		3前	2			1							
論理と認知		4後	2			1							
人間の構造と機能及び疾病		3前	2									1	
関係行政論	3後	2									1		
心理演習	4前	2			6	1		1					
心理実習	4後	2			6	1		1					
小計(61科目)	-												
演習科目群	演習科目	基礎演習Ⅰ	1前	2			9	1		2			
		基礎演習Ⅱ	1後	2			9	1		2			
		基礎演習Ⅲ	2前	2			9	1		2			
		基礎演習Ⅳ	2後	2			9	1		2			
		総合演習Ⅰ	3前	2			9	1		2			
		総合演習Ⅱ	3後	2			9	1		2			
		総合演習Ⅲ	4前	2			9	1		2			
		総合演習Ⅳ	4後	2			9	1		2			
小計(8科目)	-												
合計(138科目)	-												

卒業要件及び履修方法

全学共通科目群から25単位（必修科目14単位を含む）以上、専門科目群62単位（必修科目・選択必修科目22単位を含む）以上、演習科目群から必修科目16単位を修得し、124単位以上修得すること。
 （履修科目の登録の上限：49単位（年間））

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師のカリキュラムに対応するため、以下のように授業科目の名称を変更。
「心理学研究法・統計法」→「心理学研究法」、「心理統計法Ⅰ」→「心理学統計法Ⅰ」、「心理統計法Ⅱ」→「心理学統計法Ⅱ」、「心理統計法Ⅲ」→「心理学統計法Ⅲ」、「障害者（児）心理学」→「障害者・障害児心理学」
- ・谷伊織准教授就任辞退のため、高田琢弘助教が谷准教授の授業科目を担当する。それに伴い、「発達心理学」「教育心理学」「感情・人格心理学Ⅰ」「心理学統計法Ⅲ」「心理測定法」「児童心理学」「調査法Ⅱ」「心理演習」「心理実習」「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「基礎演習Ⅲ」「基礎演習Ⅳ」「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」「総合演習Ⅲ」「総合演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1減」「助教1増」に変更。
- ・兼任講師就任辞退のため、「数学入門」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・コマ数再考のため、「スポーツ（バドミントン）」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・コマ数再考のため、「スポーツ（テニス）」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・コマ数再考のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・コマ数再考のため、「情報リテラシーA」「情報リテラシーB」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。

【令和元年度】

- ・全学共通科目群の担当教員見直しにより、「共生人間論実習」の担当教員を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・全学共通科目群の担当教員見直しにより、「地域社会と共生」の担当教員を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・兼任講師辞任により、「自然と環境」の担当教員を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更し、開講学期を「1前」から「1後」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の担当教員を「教授2」「兼任・兼任8」から「教授1」「助教1」「兼任・兼任8」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「知覚・認知心理学Ⅱ」の担当教員を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「調査法Ⅱ」の担当教員を「教授2」「助教1」から「教授1」「助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「総合英語Ⅲ」「英会話Ⅲ」を「選択科目」から「必修科目」に変更し、開講学期を「2後」から「2前・後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語ライティング」の開講学期を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心のメカニズム」の開講学期を「1後」から「1前」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・コマ数再考のため、「英会話Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・コマ数再考のため、「日本語表現法A（音声）」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。

【令和2年度】

- ・全学共通科目群の科目見直しにより、開講科目数を「65科目」から「69科目」に増やすとともに、以下のように授業科目を新設及び変更。
新規科目：「持続可能な社会（SDGs）と共生」「生物多様性と共生」「地域社会と共生A」「海外文化研修A」
科目名称変更：「自然と環境」→「自然環境と共生」、「異文化理解」→「多文化共生」、「市民社会と政治」→「市民社会と共生」
「国際事情と共生」、「地域社会と共生」→「地域社会と共生B」
「海外異文化研修B」→「海外文化研修B」、「海外異文化研修C」→「海外文化研修C」
「海外異文化研修D」→「海外文化研修D」
- ・全学共通科目群の担当教員見直しにより、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」の教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・兼任講師辞任により、「情報リテラシーA」の教員の配置を「兼任・兼任3」から「教授1、兼任・兼任2」に変更。
- ・コマ数再考のため、「総合英語Ⅲ」の教員の配置を「兼任・兼任2」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・コマ数再考のため、「英会話Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・コマ数再考のため、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・兼任講師就任辞退のため、「神経・生理心理学」の担当教員を「兼任・兼任1」から「助教1」に変更。
- ・専門科目群の担当教員見直しにより、「心理測定法」の担当教員を「助教1」から「教授1」に変更。

【令和3年度】

- ・兼任講師辞任により、「情報リテラシーB」の教員の配置を「兼任・兼任3」から「教授1、兼任・兼任2」に変更。
- ・兼任講師辞任により、「生活と環境」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・職位変更により「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の教員の配置を「教授1、助教1、兼任・兼任8」から「教授1、准教授1、兼任・兼任8」に変更。
- ・職位変更により「知覚・認知心理学Ⅱ」「神経・生理心理学」「心理学統計法Ⅲ」の教員の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・教授退職及び助教採用に伴う担当科目の見直しにより、「社会・集団・家族心理学」「産業・組織心理学」「社会調査論」の教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教授退職及び助教採用に伴う担当科目の見直しにより、「心理学統計法Ⅰ」「調査法Ⅰ」の教員の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・職位変更により「調査法Ⅱ」の教員の配置を「教授1、助教2」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・開講コマ数の増加に伴い、「行動観察法」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・兼任講師辞任により、「関係行政論」の教員の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教授退職及び職位変更により「心理演習」「心理実習」の教員の配置を「教授6、助教2」から「教授5、准教授2」に変更。
- ・教授退職、助教採用、職位変更により、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「基礎演習Ⅲ」「基礎演習Ⅳ」「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」の教員の配置を「教授9、准教授1、助教2」から「教授8、准教授3、助教1」に変更。
- ・教授退職、助教採用、職位変更により、「総合演習Ⅲ」「総合演習Ⅳ」の教員の配置を「教授9、准教授1、助教2」から「教授8、准教授3、助教1、兼任・兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
24 科目	110 科目	0 科目	134 科目	26 科目 [2]	112 科目 [2]	0 科目 [0]	138 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{134} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	購入のため(元)		
	校舎敷地	34,690.00㎡	0㎡	0㎡	34,690.00㎡			
	運動場用地	69,311.00㎡	0㎡	0㎡	69,311.00㎡			
	小 計	104,001.00㎡	0㎡	0㎡	104,001.00㎡			
	そ の 他	117,905.00㎡ 116,376.00㎡	0㎡	0㎡	117,905.00㎡ 116,376.00㎡			
	合 計	221,906.00㎡ 220,377.00㎡	0㎡	0㎡	221,906.00㎡ 220,377.00㎡			
(2) 校舎	専 用	44,981.00㎡ (44,981.00㎡)	0㎡ (0 ㎡)	共用する他の学校等の専用 (0 ㎡)	計 (44,981.00㎡)			
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
(3) 教室等	51室	37室	20室	13室 (補助職員 5人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	心理学部心理学科			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「機械・器具」 「標本」は大学全体 購入のため(3) 購入のため(2) 購入のため(元) 学術雑誌の減は終刊のため(元)
	心理学部	8,300 [1,000] (8,430 [720]) (8,152 [699]) (7,898 [693]) (7,576 [683]) (7,092 [522])	25 [8] (22 [6]) (24 [6]) (22 [6])	600 [500] (674 [573]) (673 [575]) (668 [568]) (507 [465]) (493 [451])	500 (361) (345) (339) (306)	3,755 (4,152) (4,089) (3,944) (3,755)	45 (45)	
	計	8,300 [1,000] (8,430 [720]) (8,152 [699]) (7,898 [693]) (7,576 [683]) (7,092 [522])	25 [8] (22 [6]) (24 [6]) (22 [6])	600 [500] (674 [573]) (673 [575]) (668 [568]) (507 [465]) (493 [451])	500 (361) (345) (339) (306)	3,755 (4,152) (4,089) (3,944) (3,755)	45 (45)	
		面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体			
(6) 図 書 館	5,503.99㎡	611席 572席 553席	501,302冊	閲覧席増設のため(2) 閲覧席増設のため(元)				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	5,428.20㎡	室内プール	トレーニングジム・ダンス室					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
	教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	0千円	0千円	0千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	0千円	0千円	0千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費については経常経費の中で措置
	1,350千円	1,190千円	1,190千円	1,190千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称							1		0		備考
既設学部等の名称							学生募集停止学科数	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	開設年度	所在地	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経営学部	4	230	3年次5	930	—	1.17	1.04	—	平成7	—	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233
経営学科	4	230	5	930	学士(経営学)	1.17	1.04	—	平成7		
人文学部	4	100	3年次2	404	—	1.20	1.10	—	平成12	—	愛知県名古屋市長天白区中平二丁目901番地
人文学科	4	100	2	404	学士(人文学)	1.20	1.10	平成30	平成12		
心理学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	平成26	同上	
心理学部	4	100	3年次2	404	—	1.15	1.06	—	平成30	—	愛知県名古屋市長天白区中平二丁目901番地
心理学科	4	100	2	404	学士(心理学)	1.15	1.06	—	平成30		
教育学部	4	180	3年次5	730	—	1.05	0.96	—	平成24	—	愛知県名古屋市長天白区中平二丁目901番地
教育学科	4	180	5	730	学士(教育学)	1.05	0.96	平成30	平成24		
スポーツ健康科学部	4	260	3年次5	1050	—	1.03	0.86	—	平成24	—	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233
スポーツ健康科学科	4	260	5	1050	学士(スポーツ健康科学)	1.03	0.86	平成30	平成24		
健康栄養学部	4	120	—	480	—	0.91	0.71	—	平成23	—	愛知県名古屋市長天白区中平二丁目901番地
管理栄養学科	4	120	—	480	学士(栄養学)	0.91	0.71	—	平成23		
大学全体	—	990	19	3998	—	—	—	—	—	—	
経営学研究科	2	20	—	40	—	0.11	0.05	—	平成12	—	愛知県みよし市福谷町西ノ洞21番地233
経営学専攻	2	20	—	40	修士(経営学)	0.11	0.05	—	平成12		
大学の名称							学生募集停止学科数	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数			備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
 ・学部/学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	教授	河野 和明 (53) (平成30年4月) 博士(心理学)	河野 和明 (53) (平成30年4月) 博士(心理学)	河野 和明 (54) (平成30年4月) 博士(心理学)	河野 和明 (55) (平成30年4月) 博士(心理学)	河野 和明 (56) (平成30年4月) 博士(心理学)	
		心理学研究法・統計法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心のメカニズム 心理学研究法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 感情・人格心理学Ⅱ 適応の心理学 動物心理学 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	
専	教授	青山 広 (65) (平成30年4月) Ph.D in Philosophy (米國)	青山 広 (65) (平成30年4月) Ph.D in Philosophy (米國)	青山 広 (66) (平成30年4月) Ph.D in Philosophy (米國)	青山 広 (67) (平成30年4月) Ph.D in Philosophy (米國)	青山 広 (68) (平成30年4月) Ph.D in Philosophy (米國)	
		地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	新学入門 地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	自然と環境 新学入門 地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	自然環境と共生 情報リテラシーA 情報リテラシーB 新学入門 地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	自然環境と共生 情報リテラシーA 情報リテラシーB 新学入門 地域社会と共生 自然科学の基礎知識 人文科学の基礎知識 ことばと認知 論理と認知 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	
専	教授	伊藤 君男 (50) (平成30年4月) 博士(文学)	伊藤 君男 (50) (平成30年4月) 博士(文学)	伊藤 君男 (51) (平成30年4月) 博士(文学)	伊藤 君男 (52) (平成30年4月) 博士(文学)	伊藤 君男 (53) (平成30年4月) 博士(文学)	
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 対人認知論 心理統計法Ⅱ 文化心理学 調査演習Ⅰ 調査演習Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	
専	教授	奥田 達也 (62) (平成30年4月) 文学修士※	奥田 達也 (62) (平成30年4月) 文学修士※	奥田 達也 (63) (平成30年4月) 文学修士※	奥田 達也 (64) (平成30年4月) 文学修士※	奥田 達也 (65) (平成30年4月) 文学修士※	
		心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	心のメカニズム 社会・集団・家族心理学 心理統計法Ⅰ 産業・組織心理学 調査法Ⅰ 社会調査論 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	
専	教授	片桐 茂博 (62) (平成30年4月) 文学修士	片桐 茂博 (62) (平成30年4月) 文学修士	片桐 茂博 (63) (平成30年4月) 文学修士	片桐 茂博 (64) (平成30年4月) 文学修士	片桐 茂博 (65) (平成30年4月) 文学修士	
		哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	哲学の基礎 倫理学の基礎 社会科学の基礎知識 仕事の世界 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	助教	山川 香織 (32) <平成30年4月> 博士(心理学)	基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専任	助教	高田 遼弘 (30) <平成30年4月> 博士(心理学)	発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理学統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専任	助教	高田 遼弘 (31) <平成30年4月> 博士(心理学)	発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理学統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専任	助教	高田 遼弘 (32) <平成30年4月> 博士(心理学)	発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理学統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専任	准教授	高田 遼弘 (33) <平成30年4月> 博士(心理学)	発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理学統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
専任	准教授	高田 遼弘 (35) <平成30年4月> 博士(心理学)	発達心理学 教育心理学 感情・人格心理学Ⅰ 心理学統計法Ⅲ 心理測定法 児童心理学 調査法Ⅱ 心理演習 心理実習 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 基礎演習Ⅲ 基礎演習Ⅳ 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅲ 総合演習Ⅳ
兼任	教授	服部 祐児 (57) <平成30年4月> 体育学修士	スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	服部 祐児 (57) <平成30年9月> 体育学修士	スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	服部 祐児 (58) <平成30年9月> 体育学修士	スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	服部 祐児 (59) <平成30年9月> 体育学修士	スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	服部 祐児 (60) <平成30年9月> 体育学修士	スポーツ(ゴルフ)
兼任	教授	浅川 和也 (61) <平成31年9月> 修士(ARTS) (米國)	異文化理解
兼任	教授	浅川 和也 (61) <平成31年9月> 修士(ARTS) (米國)	異文化理解
兼任	准教授	竹野 富美子 (57) <令和元年9月> 修士(文学)※	異文化理解
兼任	准教授	竹野 富美子 (58) <令和元年9月> 修士(文学)※	多文化共生
兼任	准教授	竹野 富美子 (59) <令和元年9月> 修士(文学)※	多文化共生
兼任	教授	安田 文吉 (72) <平成30年4月> 博士(文学)	日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	安田 文吉 (72) <平成30年4月> 博士(文学)	日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	安田 文吉 (73) <平成30年4月> 博士(文学)	日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	安田 文吉 (74) <平成30年4月> 博士(文学)	日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	安田 文吉 (75) <平成30年4月> 博士(文学)	日本文化論 日本の文化(舞踊)
兼任	教授	伊藤 淑人 (65) <平成30年4月> 文学修士	日本の文学
兼任	教授	伊藤 淑人 (65) <平成30年4月> 文学修士	日本の文学
兼任	教授	伊藤 淑人 (66) <平成30年4月> 文学修士	日本の文学
兼任	教授	伊藤 淑人 (67) <平成30年4月> 文学修士	日本の文学
兼任	教授	伊藤 淑人 (68) <平成30年4月> 文学修士	日本の文学
兼任	教授	伊藤 きよ子 (65) (平成30年4月) 生活学修士	生活と環境 自然と環境
兼任	教授	伊藤 きよ子 (65) (平成30年4月) 生活学修士	生活と環境 自然と環境
兼任	教授	倉橋 洋子 (69) (平成30年4月) 文学修士	海外異文化研修A 海外異文化研修B 海外異文化研修C
兼任	教授	倉橋 洋子 (69) (平成30年4月) 文学修士	海外異文化研修A 海外異文化研修B 海外異文化研修C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					青谷 法子 (54) <平成31年4月> 学術修士※			青谷 法子 (55) <平成31年4月> 学術修士※			青谷 法子 (56) <平成31年4月> 学術修士※
					海外風文化研修A 海外風文化研修B 海外風文化研修C			海外文化研修A 海外文化研修B 海外文化研修C 海外文化研修D			海外文化研修A 海外文化研修B 海外文化研修C 海外文化研修D
兼任	教授	河野 順子 (65) <平成31年4月> 修士(教育学)	兼任	教授	河野 順子 (64) <平成31年4月> 修士(教育学)						
					障害者(児)心理学			障害者・障害児心理学			
兼任	教授	高柳 富士丸 (66) <平成32年4月> 医学博士	兼任	教授	高柳 富士丸 (64) <平成32年4月> 医学博士						
					人体の構造と機能及び疾病			人体の構造と機能及び疾病			
								大塚 隆信 (68) <令和2年4月> 医学博士			大塚 隆信 (69) <令和2年4月> 医学博士
								人体の構造と機能及び疾病			人体の構造と機能及び疾病
			兼任	教授	白石 剛之 (66) <平成30年9月> 医学博士			白石 剛之 (67) <平成30年9月> 医学博士			白石 剛之 (69) <平成30年9月> 医学博士
					生活と化学			生活と化学			生活と化学
								北出 真紀恵 (56) <令和元年9月> 修士(社会学)※			北出 真紀恵 (58) <令和元年9月> 修士(社会学)※
					日本語表現法A(音声)			日本語表現法A(音声)			日本語表現法A(音声)
								糸倉川 政孝 (66) <令和元年9月> 薬学博士			糸倉川 政孝 (67) <令和元年9月> 薬学博士
					地域社会と共生			地域社会と共生B			
								西澤 茂男 (63) <令和2年9月> 修士(教育学)			西澤 茂男 (64) <令和2年9月> 修士(教育学)
								市民社会と共生			市民社会と共生 地域社会と共生B
								横山 陽二 (51) <令和2年4月> 政治学士			横山 陽二 (52) <令和2年4月> 政治学士
								生物多様性と共生 地域社会と共生A			生物多様性と共生 地域社会と共生A
兼任	准教授	Lafaye Elsom (59) <平成31年4月> 言語学修士(英語教育) (英国)	兼任	准教授	Lafaye Elsom (58) <平成31年4月> 言語学修士(英語教育) (英国)	兼任	講師	Lafaye Elsom (59) <平成31年4月> 言語学修士(英語教育) (英国)			
					英語ライティング			英語ライティング			
兼任	准教授	島田 肇 (59) <平成30年4月> 社会学博士	兼任	准教授	島田 肇 (60) <平成30年4月> 社会学博士	兼任	准教授	島田 肇 (61) <平成30年4月> 社会学博士			
					社会学の基礎			社会学の基礎			社会学の基礎
兼任	准教授	早野 楨二 (56) <平成30年4月> 社会学修士※	兼任	准教授	早野 楨二 (56) <平成30年4月> 社会学修士※	兼任	准教授	早野 楨二 (57) <平成30年4月> 社会学修士※			
					現代社会と生活			現代社会と生活			現代社会と生活

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	Nicholas Metcalfe (59) <平成30年4月> 歴史学修士 (新西蘭)			Nicholas Metcalfe (60) <平成30年4月> 英文学修士 歴史学修士 (新西蘭)			Nicholas Metcalfe (61) <平成30年4月> 英文学修士 歴史学修士 (新西蘭)
					英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II 英会話 III			英会話 I 英会話 II 英会話 III
			兼任	講師	Mary Teresa Hayes (52) <平成30年4月> BA (愛蘭)			Mary Teresa Hayes (53) <平成30年4月> BA (愛蘭)			Mary Teresa Hayes (54) <平成30年4月> BA (愛蘭)
					英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II
			兼任	講師	Michael Marshall (52) <平成30年4月> BA (英國)			Michael Marshall (53) <平成30年4月> BA (英國)			Michael Marshall (54) <平成30年4月> BA (英國)
					英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II
			兼任	講師	Mark Campbell (44) <平成31年4月> 学士 (Business Studies) (英國)			Mark Campbell (45) <平成31年4月> 学士 (Business Studies) (英國)			Mark Campbell (46) <平成31年4月> 学士 (Business Studies) (英國)
					英会話 III			英会話 III			英会話 III
			兼任	講師	Dean Gascoigne (54) <平成31年4月> BA (英國)			Dean Gascoigne (55) <平成31年4月> BA (英國)			Dean Gascoigne (56) <平成31年4月> BA (英國)
					英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II			英会話 I 英会話 II
			兼任	講師	Steven J. Polzin (59) <平成31年4月> BA (米國)			Steven J. Polzin (60) <平成31年4月> BA (米國)			Steven J. Polzin (61) <平成31年4月> BA (米國)
					英会話 III			英会話 III			英会話 III
			兼任	講師	吉田 仁 (57) <平成31年4月> 博士(文学) (中国)			吉田 仁 (58) <令和2年4月> 博士(文学) (中国)			吉田 仁 (59) <令和2年4月> 博士(文学) (中国)
					中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II			中国語 I 中国語 II
			兼任	講師	趙 賢美 (45) <平成31年4月> 修士(教育学) ※			趙 賢美 (46) <平成31年4月> 修士(教育学) ※			趙 賢美 (47) <平成31年4月> 修士(教育学) ※
					韓国語 I 韓国語 II			韓国語 I 韓国語 II			韓国語 I 韓国語 II
			兼任	講師	Dubert Davy (43) <平成31年4月> 修士(日本語学) (仏國)			Dubert Davy (42) <平成31年4月> 修士(日本語学) (仏國)			
					フランス語 I フランス語 II						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	稲垣 稜 (55) <平成30年4月> 農学博士	兼任	講師	稲垣 稜 (55) <平成30年4月> 農学博士	兼任	講師	稲垣 稜 (57) <平成30年4月> 農学博士	兼任	講師	稲垣 稜 (58) <平成30年4月> 農学博士
		生命の科学			生命の科学			生命の科学			生命の科学
兼任	講師	青木 恭彦 (57) <平成30年9月> 農学博士									
		生活と化学									
兼任	講師	犬飼 辰広 (66) <平成30年9月> 数学専攻修士									
		数学入門									
兼任	講師	長谷川 寛脚 (52) <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	長谷川 寛脚 (52) <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	長谷川 寛脚 (53) <平成30年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	長谷川 寛脚 (55) <平成30年4月> 学士(経済学)
		日本の文化(書道)			日本の文化(書道)			日本の文化(書道)			日本の文化(書道)
兼任	講師	石田 巳賀 (51) <平成30年4月> 修士(造形)	兼任	講師	石田 巳賀 (51) <平成30年4月> 修士(造形)	兼任	講師	石田 巳賀 (52) <平成30年4月> 修士(造形)	兼任	講師	石田 巳賀 (54) <平成30年4月> 修士(造形)
		日本の文化(華道)			日本の文化(華道)			日本の文化(華道)			日本の文化(華道)
兼任	講師	加藤 令吉 (64) <平成30年4月> 学士(文学)	兼任	講師	加藤 令吉 (65) <平成30年4月> 学士(文学)	兼任	講師	加藤 令吉 (66) <平成30年4月> 学士(文学)	兼任	講師	加藤 令吉 (67) <平成30年4月> 学士(文学)
		日本の文化(陶芸)			日本の文化(陶芸)			日本の文化(陶芸)			日本の文化(陶芸)
兼任	講師	加藤 隆広 (55) <平成30年4月> 数理情報学修士	兼任	講師	加藤 隆広 (55) <平成30年4月> 数理情報学修士	兼任	講師	加藤 隆広 (56) <平成30年4月> 数理情報学修士	兼任	講師	加藤 隆広 (58) <平成30年4月> 数理情報学修士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	小池 あずさ (55) <平成30年4月> 短期大学士	兼任	講師	小池 あずさ (55) <平成30年4月> 短期大学士	兼任	講師	小池 あずさ (56) <平成30年4月> 短期大学士	兼任	講師	小池 あずさ (58) <平成30年4月> 短期大学士
		情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB
			兼任	講師	細谷 麗二 (57) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	細谷 麗二 (58) <平成30年4月> 理学修士	兼任	講師	細谷 麗二 (59) <平成30年4月> 理学修士
					情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB			情報リテラシーA 情報リテラシーB
兼任	講師	畔柳 和枝 (44) <平成31年4月> 修士(社会学)※	兼任	講師	畔柳 和枝 (43) <平成31年9月> 修士(社会学)※	兼任	講師	畔柳 和枝 (44) <令和元年9月> 修士(社会学)※			
		生涯学習概論			生涯学習概論			生涯学習概論			
兼任	講師	伊藤 史 (40) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	伊藤 史 (39) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	伊藤 史 (40) <平成31年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	伊藤 史 (41) <平成31年4月> 修士(文学)※
		心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II
兼任	講師	應治 麻美 (31) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※	兼任	講師	應治 麻美 (30) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※	兼任	講師	應治 麻美 (31) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※	兼任	講師	應治 麻美 (32) <平成31年4月> 修士(福祉社会学)※
		心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II
兼任	講師	小澤 良 (49) <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	小澤 良 (48) <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	小澤 良 (49) <平成31年4月> 博士(心理学)	兼任	講師	小澤 良 (51) <平成31年4月> 博士(心理学)
		心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II
兼任	講師	齋藤 菜月 (27) <平成31年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	齋藤 菜月 (26) <平成31年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	齋藤 菜月 (27) <平成31年4月> 修士(心理学)	兼任	講師	齋藤 菜月 (28) <平成31年4月> 修士(心理学)
		心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II			心理学実験 I 心理学実験 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	櫻井 優太 (37) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 神経・生理心理学
兼任	講師	菅田 達也 (55) <平成31年4月> 文学修士※	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	中田 龍三郎 (41) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	松尾 朗子 (35) <平成31年4月> 修士(社会心理学) (米国)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (39) <平成32年4月> 修士(心理学)※	学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (47) (平成30年4月) 修士(文学)	コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (44) <平成32年9月> 博士(心理学)	環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (42) <平成32年9月> 文学修士※	応用心理学 司法・犯罪心理学
兼任	講師	金田 宗久 (36) <平成32年9月> 修士(心理学)※	行動観察法
兼任	講師	松本 明日香 (29) <平成32年4月> 修士(心理学)	面接法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	櫻井 優太 (36) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 神経・生理心理学
兼任	講師	菅田 達也 (54) <平成31年4月> 文学修士※	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	中田 龍三郎 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	松尾 朗子 (34) <平成31年4月> 修士(社会心理学) (米国)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (38) <平成32年4月> 修士(心理学)※	学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (47) (平成30年4月) 修士(文学)	コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (43) <平成32年9月> 博士(心理学)	環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (40) <平成32年4月> 文学修士※	応用心理学 司法・犯罪心理学
兼任	講師	金田 宗久 (34) <平成32年9月> 修士(心理学)※	行動観察法
兼任	講師	松本 明日香 (27) <平成32年4月> 修士(心理学)	面接法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	櫻井 優太 (37) <平成31年4月> 博士(心理学)	神経・生理心理学
兼任	講師	菅田 達也 (55) <平成31年4月> 文学修士※	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	中田 龍三郎 (41) <平成31年4月> 博士(心理学)	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (39) <令和2年4月> 修士(心理学)※	学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (49) (平成30年4月) 修士(文学)	障害者・障害児心理学 コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (43) <令和2年9月> 博士(心理学)	環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (41) <令和2年4月> 文学修士※	応用心理学 司法・犯罪心理学
兼任	講師	金田 宗久 (35) <令和2年9月> 修士(心理学)※	行動観察法
兼任	講師	松本 明日香 (28) <令和2年4月> 修士(心理学)	面接法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	菅田 達也 (56) <平成31年4月> 文学修士※	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (40) <令和2年4月> 修士(心理学)※	学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (49) (平成30年4月) 修士(文学)	障害者・障害児心理学 コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (45) <令和2年9月> 博士(心理学)	環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (42) <令和2年4月> 文学修士※	応用心理学 司法・犯罪心理学
兼任	講師	金田 宗久 (36) <令和2年9月> 修士(心理学)※	行動観察法 面接法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	菅田 達也 (57) <平成31年4月> 文学修士※	心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ
兼任	講師	福本 和哉 (41) <令和2年4月> 修士(心理学)※	学習・言語心理学
兼任	講師	塚本 恵信 (50) (平成30年4月) 修士(文学)	障害者・障害児心理学 コミュニケーション心理学
兼任	講師	前田 洋枝 (45) <令和2年9月> 博士(心理学)	環境心理学
兼任	講師	小嶋 理江 (43) <令和2年4月> 文学修士※	応用心理学 司法・犯罪心理学
兼任	講師	金田 宗久 (37) <令和2年9月> 修士(心理学)※	行動観察法 面接法

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 公認心理師のカリキュラムに対応するため、以下の授業科目の名称を変更。
「心理学研究法・統計法」→「心理学研究法」、「心理統計法Ⅰ」→「心理学統計法Ⅰ」、「心理統計法Ⅱ」→「心理学統計法Ⅱ」、「心理統計法Ⅲ」→「心理学統計法Ⅲ」、「障害者(児)心理学」→「障害者・障害児心理学」
- 谷伊織准教授就任辞退により、高田琢弘助教に変更。
- 青木森彦兼任講師就任辞退により、白石則之兼任教授に変更。
- 大飼辰弘兼任講師就任辞退により、青山広専任教授に変更。
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「スポーツ(バドミントン)」に以下の教員を追加。
金謙容兼任講師
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「スポーツ(テニス)」に以下の教員を追加。
樋口憲生兼任講師、佐分儀弥兼任講師
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」に以下の教員を追加。
宮崎尚一兼任講師、笹江弘子兼任講師
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」に以下の教員を追加。
Jason Robert Taylor兼任講師、Paul Stephen Salisbury兼任講師、Nicholas Metcalf兼任講師、Mary Teresa Hayes兼任講師、Michael Marshall兼任講師
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「情報リテラシーA」「情報リテラシーB」に以下の教員を追加。
細谷順二兼任講師
- 授業開講学期の変更に伴い、服部祐児兼任教授の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、Martin Rycroft兼任講師の就任が平成32年4月から平成32年9月に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、東美幸兼任講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、伊藤理香兼任講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、矢野真弓兼任講師の就任が平成30年4月から平成30年9月に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、畔柳和枝兼任講師の就任が平成31年4月から平成31年9月に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、小嶋理江兼任講師の就任が平成32年9月から平成32年4月に変更。

【令和元年度】

- 担当科目の見直しにより、齋藤兼光兼任教授の担当科目「共生人間論実習」を、宮本益治教授に変更。
- 担当科目の見直しにより、青山広教授の担当科目「地域社会と共生」を、糸魚川政孝兼任教授に変更。
- 担当科目の見直しにより、河野和明教授の担当科目「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」「調査法Ⅱ」及び、高橋晋也教授の担当科目「知覚・認知心理学Ⅱ」を、山川香織助教に変更。
- 担当科目の見直しにより、河野順子兼任教授の担当科目「障害者・障害児心理学」を、塚本恵任兼任講師に変更。
- 担当科目の見直しにより、吉田仁兼任講師の担当科目「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」を、程軌兼任講師に変更。
- 担当科目の見直しにより、櫻井優太兼任講師の担当科目「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」を、田中友理兼任講師に変更。
- 担当科目の見直しにより、Jeffrey Bondoc兼任講師の担当科目「英会話Ⅲ」を削除。
- 浅川和也兼任教授退職のため、「異文化理解」を竹野富美子兼任教授に変更。
- 浅井洋子兼任教授退職のため、「海外異文化研究A」「海外異文化研究B」「海外異文化研究C」を青谷法子兼任教授に変更
- 伊藤まよ子兼任教授退職のため、「自然と環境」を青山広教授に変更
- 伊藤まよ子兼任教授退職のため、「生活と環境」を駒田洋兼任講師に変更。
- Lafaye Elsom兼任教授の職位を兼任講師に変更。
- 安田文吉兼任教授の職位を兼任講師に変更。
- Paul Stephen Salisbury兼任講師退職のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」の担当教員をDean Gascoigne兼任講師に変更。
- Dubert Davy兼任講師退職のため、「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」をHergott Florian兼任講師に変更。
- 松尾朗子兼任講師就任辞退のため、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の担当教員を朴ゴン兼任講師に変更。
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「日本語表現法A(音声)」に以下の教員を追加。
北出真紀恵兼任教授
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「英会話Ⅲ」に以下の教員を追加。
Jason Robert Taylor兼任講師、Nicholas Metcalf兼任講師、Mark Campbell兼任講師、Steven J. Polzin兼任講師
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」に以下の教員を追加。
秋元恵兼任講師
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅲ」に以下の教員を追加。
川端理恵兼任講師

【令和2年度】

- 全学共通科目群の科目見直しにより、以下の授業科目を新設。
新規科目:「海外異文化研修A」「青谷法子兼任教授」、「生物多様性と共生」(横山陽二兼任教授)、「地域社会と共生A」(横山陽二兼任教授)、「持続可能な社会(SDGs)と共生」(井上和久兼任助教)
- 全学共通科目群の科目見直しのため、以下のように授業科目の名称を変更。
「自然と環境」→「自然環境と共生」、「異文化理解」→「多文化共生」、「市民社会と政治」→「市民社会と共生」、「国際事情」→「国際事情と共生」
「地域社会と共生」→「地域社会と共生B」、「海外異文化研修B」→「海外異文化研修C」→「海外異文化研修D」
「海外異文化研修D」→「海外文化研修D」
- 担当科目の見直しにより、「情報リテラシーA」の担当教員を細谷順二兼任講師から青山広教授に変更。
- 担当科目の見直しのため、「心理測定法」の担当教員を高田琢弘助教から伊藤君男教授に変更。
- 担当科目の見直しのため、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」の担当教員を伊藤君男教授から樋町美華准教授に変更。
- 櫻井優太兼任講師退職のため、「神経・生理心理学」の担当教員を山川香織助教に変更。
- 高柳富士丸兼任教授退職のため、「人体の構造と機能及び疾病」の担当教員を大塚隆信兼任教授に変更。
- Lafaye Elsom兼任講師退職のため、「英語ライティング」の担当教員をConrad Bucsis兼任講師に変更。
- 畔柳和枝兼任講師退職のため、「生涯学習概論」の担当教員を村主千賀兼准教授に変更。
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「総合英語Ⅲ」に宮崎尚一兼任講師を追加。
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「英会話Ⅲ」にJeffrey Bondoc兼任講師を追加。
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」に吉田仁兼任講師を追加。
- 水畑千鶴兼任講師退職のため、「ポルトガル語Ⅰ」「ポルトガル語Ⅱ」の担当教員を宮坂ヘジナ兼任講師に変更。
- 河村たか子兼任講師退職のため、「日本語表現法A(音声)」の担当教員を小嶋陽子兼任講師に変更。
- 山崎祐哉兼任講師退職のため、「社会生活と法」の担当教員を太田信兼講師に変更。
- 岡田宏太郎兼任講師退職のため、「市民社会と政治」の担当教員を西瀧茂男兼任教授に変更。
- 授業開講学期の変更に伴い、祖父江美穂兼任講師の就任が令和2年4月から令和2年9月に変更。
- 中田龍三郎兼任講師退職のため、「心理学実験Ⅰ」の担当教員を下條朝也兼任講師に変更。
- 中田龍三郎兼任講師退職のため、「心理学実験Ⅱ」の担当教員を金谷悠太兼任講師に変更。
- 松本明日香講師就任辞退のため、「面接法」の担当教員を金田宗久兼任講師に変更。
- 教育効果を考慮して担当教員を増加したため、「面接法」に松林翔太兼任講師を追加。

【令和3年度】

- 山川(白井)香織助教の職位を准教授に変更。
- 高田琢弘助教の職位を准教授に変更。
- 島田肇兼任教授の職位を教授に変更。
- 長峯聖人助教を採用。
- 奥田達也教授退職のため、職位を教授から兼任講師に変更、担当科目を「総合演習Ⅲ」「総合演習Ⅳ」のみに変更。
- 奥田達也教授退職のため、「心のメカニズム」の担当教員を奥田達也兼任講師から河野和明教授に変更。
- 担当科目の見直しにより、「発達心理学」「教育心理学」「感情・人格心理学Ⅰ」「児童心理学」の担当教員を高田琢弘准教授から長峯聖人助教に変更。
- 担当科目の見直しにより、「心理学統計法Ⅰ」「調査法Ⅰ」の担当教員を奥田達也兼任講師から長峯聖人助教に変更。
- 担当科目の見直しにより、「社会・集団・家族心理学」「産業・組織心理学」「社会調査論」の担当教員を奥田達也兼任講師から高田琢弘准教授へ変更。
- 細谷順二兼任講師退職のため、「情報リテラシーB」の担当教員を青山広教授に変更。
- 全学共通科目群の担当教員見直しにより、「日本文化論」の担当教員を安田文吉兼任講師から伊勢光兼准教授に変更。
- 全学共通科目群の担当教員見直しにより、「地域社会と共生B」の担当教員を糸魚川政孝兼任教授から西瀧茂男兼任教授に変更。
- 祖父江美穂兼任講師退職のため、「国際事情と共生」の担当教員を山本伸兼教授に変更。
- 太田信兼講師退職のため、「社会生活と法」の担当教員を山崎祐哉兼任講師に変更。
- 駒田洋兼任講師退職のため、「生活と環境」の担当教員を神戸結代兼任教授、村田千代業兼任教授、宮澤洋子兼任教授に変更(オムニバス授業)。
- 教育効果を考慮して開講コマ数を増加したため、「行動観察法」の担当教員を田中友理兼任講師を追加。
- 鷹治麻美兼任講師退職のため、「心理学実験Ⅰ」「心理学実験Ⅱ」の担当教員を太田直斗兼任講師に変更。
- 大城純男兼任講師退職のため、「関係行政論」の担当教員を三宅理子教授に変更。
- Nicholas Metcalf兼任講師退職のため、「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」の担当教員をCatherine Halliday兼任講師に変更。
- Nicholas Metcalf兼任講師退職のため、「英会話Ⅲ」の担当教員をNgairne Anne Keenan兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡易書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **履可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A教員審査)を受けてください。**A教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	2	0	1	12	0	8	3	0	1	12	0
(9)	(1)	(0)	(2)	(12)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	3	0	1	12	0	8	3	0	1	12	0
[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授70 それ以外65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	谷 伊織	H30.4	必修	発達心理学	①	他大学就任のため就任辞退（30）		
				選択	教育心理学	①			
				選択	感情・人格心理学Ⅰ	①			
				選択	心理学統計法Ⅲ	①			
				選択	心理測定法	①			
				選択	児童心理学	①			
				選択	調査法Ⅱ	①			
				選択	心理演習	①			
				選択	心理実験	①			
				必修	基礎演習Ⅰ	①			
				必修	基礎演習Ⅱ	①			
				必修	基礎演習Ⅲ	①			
				必修	基礎演習Ⅳ	①			
				必修	総合演習Ⅰ	①			
				必修	総合演習Ⅱ	①			
				必修	総合演習Ⅲ	①			
				必修	総合演習Ⅳ	①			
合計（D）				後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	8 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	17 科目	計	17 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	奥田 達也	R3.3	選択	心のメカニズム	①	R3.3.31付け 家庭の事情のため辞任(3)		
				必修	社会・集団・家族心理学	①			
				必修	心理学統計法Ⅰ	①			
				選択	産業・組織心理学	①			
				必修	調査法Ⅰ	①			
				選択	社会調査論	①			
				選択	心理演習	①			
				選択	心理実習	①			
				必修	基礎演習Ⅰ	①			
				必修	基礎演習Ⅱ	①			
				必修	基礎演習Ⅲ	①			
				必修	基礎演習Ⅳ	①			
				必修	総合演習Ⅰ	①			
				必修	総合演習Ⅱ	①			
必修	総合演習Ⅲ	②							
必修	総合演習Ⅳ	②							
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1	人	必修	11 科目	必修	9 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	16 科目	計	14 科目	計	2 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	20 科目	必修	18 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	33 科目	計	31 科目	計	2 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{12} = 16.66\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

谷准教授の後任として高田琢弘助教が着任し、谷准教授が担当予定であったすべての科目を担当する。学生には、時間割等により周知する。(30)

奥田教授の後任として長峯聖人助教が着任し、専任教員の専門分野から担当科目を見直し、奥田教授が担当予定であった科目を専任教員で分担する。令和3年度の奥田教授の「総合演習Ⅲ」「総合演習Ⅳ」については、前年度と対象学生が同じであり、演習指導を継続的に行うために、兼任講師として引き続き担当する。学生には、新年度ガイダンスと時間割等により周知する。(3)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	東海学園大学の既設学部等（人文学部人文学科）の入学定員超過の改善に努めること。	指摘事項 (改善) 入試の合格者決定にあたり、過去の入学手続きにおける実績数値をもとに、学内の関係機関で慎重に検討を行った上で発表したが、予想を上回る手続きの結果となり、定員超過率を高める事態となった。平成31年度（令和元年度）入試においては定員超過の状況を十分に踏まえ、入試の合格者決定にあたり、過去の実績や志願者の動向について精査した上で選考を行い、定員超過を是正した。	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘**を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

・ 全学教育委員会

<全学教育委員会規程>

(目的)

第1条 この規程は、東海学園大学各種委員会規程に基づき、全学的な教育に関する機関である全学教育委員会（以下、「委員会」という）の円滑な運営のために必要な事項を定めることを目的とする。

(業務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、必要事項を処理する。

(1) 全学共通的な教育的取組みの企画・立案及び実施に関する事項（全学共通的な教務に関する事項を含む。）

(2) 全学共通的な初年次教育の企画・立案に関する事項

(3) 全学共通的な教育支援に関する事項

(4) 授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組み（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事項

(5) その他全学共通的な教育に関し必要な事項

2 前項第1号、第2号の審議に当たっては、全学共通教育機構と連携するものとする。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1) 学長補佐（教務担当）

(2) 全学共通教育機構長

(3) 各学部教務委員長

(4) その他本学教職員で学長が適当と認めた者

(委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、委員長は学長補佐（教務担当）とする。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、予め委員長が指名した者がその職務を行う。

(部会の設置)

(議事)

第5条 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、事務局教務課が行う。

(改正)

第8条 この規程の改正は、大学評議会が行う。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から改正施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から改正施行する。

<東海学園大学ファカルティ・ディベロップメント実施規則>

(目的)

第1条 この規則は、東海学園大学教員が授業及び学生指導等の内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組み（ファカルティ・ディベロップメント）を実施するために必要な事項を定める。

(委員会)

第2条 前条の事項を行うため、東海学園大学全学教育委員会規程第5条に基づきファカルティ・ディベロップメントに関する専門委員会（以下、「FD部会」という。）を設置する。

(業務)

第3条 FD部会は、次の業務を行う。

- (1) 授業及び学生指導等の内容・方法の改善の支援
- (2) 新任教員等を対象とする研修の推進
- (3) FD活動に資する情報収集と提供
- (4) その他必要な事業

(部会長)

第4条 FD部会には、部会長を置き、部会長は全学教育委員会委員長が指名する。

(会議)

第5条 FD部会の会議は、部会長が召集し、議長となる。

2 FD部会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

3 全学教育委員会委員長は、必要に応じてFD部会に出席して意見を述べることができる。

4 委員会が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(報告)

第6条 部会長は、FD部会の審議結果を全学教育委員会の議を経て、大学評議会に報告するものとする。

(改正)

第7条 この規則の改正は、全学教育委員会の議を経て大学評議会が行う。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・月1回程度開催、全学部の教務委員会委員長が出席

c 委員会の審議事項等

- ・全学教育に関する事項、FD活動の実施計画

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業評価アンケート
- ・教員相互の授業参観
- ・FD研修会

b 実施方法

- ・教員相互の授業参観：年1回実施（令和2年度は秋学期に実施した。令和3年度は春学期に実施予定。）
- ・FD研修会：年1回実施（3月）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全ての学部において、一部の講義を対象に教員相互の授業参観を実施し、教員は必ず授業を参観し、意見やコメントを寄せることとしている。
- ・FD・SD研修会「アクティブ・ラーニングを効果的に取り入れた授業設計」及びFD研修会「魅力ある授業づくりに向けて～第3回教育活動受彰者報告会～」のテーマでフォーラムを開催した。（平成30年度）
- ・FD研修会「魅力ある授業づくりに向けて～第4回教育活動受彰者報告会～」のテーマでフォーラムを令和2年3月に開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響に配慮し延期した。
- ・FD・SD研修会「SDGsと大学教育への期待」のテーマで外部講師を招き、講演会を開催した。対面とオンライン受講の併用で実施した。（令和2年度）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケート・相互授業参観では、学生の意見を得るとともに、教員は授業改善報告書を作成し、教員同士の意見交換を活発に行い、授業改善へつなげている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年1回実施（令和2年度は秋学期に実施した。令和3年度は春学期に実施予定。）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員には全体の平均値及び担当科目ごとの集計結果と記述回答を配付、学生には学内ポータルサイトにて学部ごとの集計結果を公開している。また、教員（専任および非常勤）・学生・保護者から申請があった際には、学内（図書館および教務課）にて閲覧できるようにしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1. 人材養成

心理学部は、心に関する科学的な知識ならびに本学の教育理念である「共生（ともいき）」を基礎とし、自己、他者、社会等に関する諸問題を体系的に理解できる人材を養成する。また、個人の対人的問題や心理的問題など、心に関連する諸問題が発生する要因と機序を的確に分析し、それらの解決策を提起し、実行できる人材を養成する。卒業後は、対人対応力を活かす営業・接客業務、人の心と行動を深く理解する観察力を活かす人事・教育業務、データ取得・解析の知識と能力を活かす調査・企画業務などへの就職が期待される。さらに、大学院へ進学し一層高度な知識と技術を身につけ、公認心理師や臨床心理師の資格取得を目指す人材の養成にも力を入れる。

2. 教育課程の編成

心理学部では心理学を中心とした人間理解の基礎の確実な習得を図るとともに、広く深く心理学的知識を提供すべく、系統立てられた教育課程となるように設定されている。

「全学共通科目群」では、中央教育審議会答申に従い幅広い分野の教養科目で構成し、社会の変化に対応できる学士力を育成することを目標として、本学の建学の精神である「勤儉誠実」を基軸とした、全学的な教育を行っている。基礎的な学力を習得するとともに、健康でバランスのとれた心身を確立し、社会の変遷に常に関心を向け、自他を活用、自分を巻き巻き社会や地球環境を更に良いものにしていくという態度・指向性を涵養することを目的とし編成している。

「専門科目群」は「基礎科目」「基幹科目」「展開応用科目」に区分され、人の心と行動を科学的に理解するための方法論系の教育を重視し、自他の心と客観的に向き合い、心の問題を多視点から捉える姿勢と能力を修得させる。また、公認心理師の学習要件に対応させ、基礎行動系から臨床応用系まで幅広い心理学専門教育を体系的に実施する。「基礎科目」は幅広い学問的視野の獲得と社会で生きる自己のあり方を再認識するための科目を設置している。「基幹科目」は心理学を専門的に学ぶ際にもっとも重要かつ基本となる知識と技能を学ぶ科目から構成されている。「展開応用科目」はより専門的で個別的な研究手法と心理学的知識を学ぶ科目、さまざまな問題に対する心理学の適用を理解するための科目で構成されている。

「演習科目群」では1～4年次まで少人数によるゼミを配置して、大学での学習の導入と基礎作り、大学生活への適応の促進、きめ細かい修学支援、専門的な心理学教育を行っている。細かな指導はゼミ担当者が行うが、教員間で学生に関する情報を適宜交換し、学生指導の効果を高めている。

3. 教員組織の編成

大学設置基準に定められた教員数、資質を十分に順守し、基準の専任教員数を配置している。また、担当科目適合性と人格に十分に配慮して、教育研究業績や実務経験などを勘案し、教授、准教授、講師及び助教として適格に配置するとともに、教育課程を適切に運営するため、専門分野の主要科目には専任教員を配置している。

本学の定年は、教授70歳、それ以外の職階は65歳と就業規則に定めている。但し、専任教員の退職等が発生した場合、教育課程の履行上大きな変更が生じないように関係法規の順守はもとより、教育課程充実のために必要に応じ専任教員を採用する。教員選考時は選考委員会を設置し、候補者の研究業績・教育業績の両面にわたって数値化し、業績を適正に評価する。

4. 自己点検・評価

「東海学園自己点検・評価規程」に基づき、毎年自己点検・評価の結果を取りまとめている。併せて第三者評価を実施するために、「東海学園大学自己点検評価委員会」を置き、自己点検・評価の基本方針や実施、結果と検証に関する任務を遂行している。また4年を超えない範囲で報告書を作成し公表することを定めている。その規定に基づき令和2年度に、作成した報告書に対する外部評価を受審し、令和3年2月に開催した講習会にて、評価員からの指摘や意見を受けた。指摘を受けた点は、改善に向けて関連部署・会議で検討を進めている。大学機関別認証評価については、平成28年に日本高等教育評価機構による第2期認証評価を受審し、大学評価基準に適合していると認定された。第3期認証評価は令和5年に受審する計画で準備を進めている。

本学のFD活動は、全学教育委員会の起案により、全学部において授業相互参観、学生による授業アンケート、FD研修会などを次のとおり実施している。前期（春）または後期（秋）に公開授業を行い、教員の相互授業参観による授業評価を行っている。これに加え各学部で教授会後に懇談会を開催するなどして、参観した授業への評価と反省点を教員間で共有し、その内容を学修指導の改善に活かしている。授業アンケートは、前期（春）または後期（秋）に1回、各教員が担当する全科目について実施している。令和2年度後期は、従来の用紙配布による方式を変更し、学生ポータルサイトを利用したWeb回答方式を採用し、授業の14・15回目に実施した。教員は、アンケート結果の考察をもとに「授業改善報告書」を作成し提出している。FD研修会については、毎年度「教育活動受賞者報告会」と題して、全教員を対象とした研修会を行い、教育活動受賞者による授業実践例を全教員で共有することにより、教員相互の授業研究の機会としている。FD研修会には職員も参加し、具体的な授業方法の改善に努めている。

教育課程に関しては、「全学教育委員会」を中心にカリキュラムツリー、カリキュラムマップ、ナンバリング及びそれらとカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーとの整合性についてPDCAサイクルを確立させ、定期的な見直しを実施している。令和元年度は各学部のカリキュラムポリシーの点検・修正を行った。今後も私立大学等改革総合支援事業タイプ1や教育の質に係る客観的指標の要件などを指標として、継続して教育の質の向上に向けて取り組んでいく。なお、非常勤講師とはシラバスの内容チェックや打合せ会を通じて意思統一を図っている。

また、令和2年4月に従来の「全学共通教育機構」を「ともいき教養教育機構」に再編し、共生の教育理念に基づく人間力の向上及び総合的教養の具現化を図ることを目的に、全学的な共通教育に係る教育課程に関する業務を行っている。全学的な共通教育の企画・立案・実施にあたっては各学部の専門教育及び「全学教育委員会」と連携しながら、円滑な運営を図るようにしている。今後もカリキュラムツリー、カリキュラムマップ、ナンバリング等を活用し、より細部にわたり全学共通科目の編成を点検し、科目の整理・統合と連携、学年配当や開講時限の検討、授業担当者の人選などを行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成29年3月 自己評価報告書を本学ホームページ上で公表
- ・平成29年6月 自己評価報告書を刊行
- ・令和2年10月 自己評価報告書を刊行、本学ホームページ上で公表
- ・令和3年6月 外部評価報告書を公表予定

b 公表方法

- ・自己点検評価報告書を刊行し、理事会・評議員・教育後援会役員・専任教職員等に配布。
- ・日本高等教育評価機構による認証評価結果および自己評価報告書を本学ホームページ上で公表。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成28年度に日本高等教育評価機構による認証評価を受審し、平成29年3月7日付けで、「日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合している。」と認定された。
認定期間は、平成29年4月1日から令和6年3月31日までの7年間。
次回は令和5年度に受審予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合 》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合 》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。